

外来医師一覧表

		月	火	水	木	金
外科	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
整形外科	午前	西口 雅彦	西口 雅彦		西口 雅彦	
	午後		西口 雅彦			
脳神経外科	午前			藤岡 正導		藤岡 正導
	午後			藤岡 正導		
脳神経内科	午前				済生会熊本病院医師 (2,4週)	
心血管外科	午後	済生会熊本病院医師				
循環器内科	午前	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
	午後	庄野 弘幸	庄野 弘幸		庄野 弘幸	
呼吸器内科	午前	済生会熊本病院医師 (隔週)				
消化器内科	午前	長島 不二夫	藤本 貴久	築村 哲人	築村 哲人	藤本 貴久
	午後				築村 哲人	
肝臓外来	午前			熊大病院医師 (川崎 剛)		
泌尿器科	午前			済生会熊本病院医師 (2,4週)	済生会熊本病院医師 (1,3週)	
腎臓内科	午前					町田 健治
	午後			町田 健治		
糖尿病外来	午前					済生会熊本病院医師 星乃(2週)、松尾(3週)
乳腺外来	午前	田辺 大朗		田辺 大朗	甲斐 幹男	
ペインクリニック	午前					
	午後					荒川 和也(2,4週)
禁煙外来	午後					藤岡 正導
動脈硬化外来	午後		藤岡 正導			
脳ドック	午後			藤岡 正導		

- 受付時間／午前8:30～11:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
- ※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
- ※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。
- ※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

休診のお知らせ

ホームページに最新の休診情報を掲載していますので、ご覧ください

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

- 1.良質な医療を公平に受ける権利
- 2.診療の内容等について十分な説明を受ける権利
- 3.治療方法など自分の意志で決定する権利
- 4.個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
- 5.診療記録の開示を求める権利
- 6.あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

- 1.自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
- 2.わからない事柄について質問する義務
- 3.病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
- 4.他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



54 Take Free.
2020.9



秋篠宮さま
ご一家の
手作りガウンを
着用中

病気のはなし「水・電解質代謝異常」

みすみ病院のできごと

部署紹介[スリーエス]

外来医師一覧

[特集] 行事食を紹介します!

水・電解質代謝異常

腎臓内科／町田健治

○ 医学解説

1. 概論

私たち人は、体外の環境から栄養や水分を食事にて体内に取り込み、不要なものや老廃物は便や尿として体外に排泄して、水や電解質などの体組成成分のバランスを保っています。

体の中の水分や電解質のバランスを崩す原因はいろいろありますが、とりわけ、尿を作って体組成成分のバランスの最終調整を行っている腎臓に機能障害が起こると、バランスをとるのが難しくなります。

腎臓には様々な働きがあります。そのひとつとして、尿を作るという働きがあります。

腎臓で作られた尿は、尿管、そして膀胱、尿道を通り、体外に排泄されます。尿の元となるのは血液です。腎臓は腎臓内の毛細血管(糸球体といいます。糸球体は1個の腎臓に100万個あるといわれています)で血液をろ過し尿の元(原尿といいます)がまず作られ、それが腎臓内の尿細管という細い管の中を流れていく間に必要な水分や物質が尿細管の働きで再吸収され(または不要な物質が尿に尿細管から分泌され)ます。腎臓から尿管へ出て行く尿は、体外に出て行く尿と同じ成分になっています。

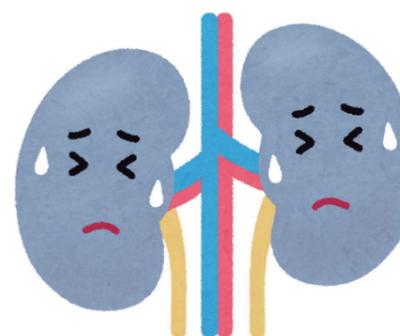
体内の水分量やナトリウムやカリウムといった電解質の量を最終的に調整するのが、腎臓が作り出している「尿」なのです。

ですから、腎臓の「尿」を作る働きに異常を来すと、適切な「尿」を作り出せなくなり、結果として、水分が過剰に貯まって体のむくみを起こしたり、または逆に脱水になったり、血液中の電解質(ナトリウムやカリウムなど)の適正な濃度が維持できなくなったりします。

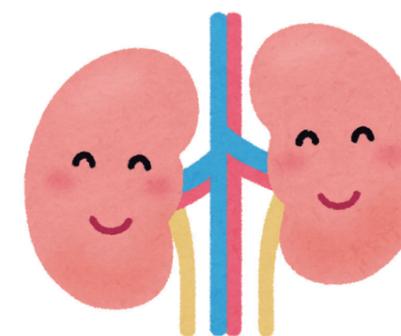
水や電解質を調整するという腎臓の「尿」を作る働きに異常を来たす原因には、腎臓そのものの異常の他、腎臓での尿の生成を調整するホルモンの異常など腎臓以外が原因となっていることもあります。

2. 原因

水・電解質代謝異常を起こす原因を、①腎臓自体の異常、②腎臓以外の異常に分けてみます。



① 腎臓自体の異常



② 腎臓以外の異常

①の腎臓自体の異常には、急性腎不全、慢性腎不全、尿細管の機能異常などが挙げられます。

②の腎臓以外の異常としては、
i) 食事や水分の摂取が十分でない状態や、下痢や、発熱による大量の発汗など
ii) 腎臓の尿の生成を調整するホルモンの異常などが挙げられます。

3. 症状

水分欠乏状態(脱水): 口渇、血圧低下、ふらつき

水分過剰状態(体液過剰): 体のむくみ、体重増加、息苦しさ、血圧上昇

血液の電解質異常(高ナトリウム血症、低ナトリウム血症、高カリウム血症、低カリウム血症、高カルシウム血症、低カルシウム血症、高マグネシウム血症、低マグネシウム血症など): それぞれの電解質の異常にて様々な症状がみられます。例えば、意識障害が、高ナトリウム血症、低ナトリウム血症、高カリウム血症、高カルシウム血症にて、脈が遅い(徐脈)が、高カリウム血症にて、口渇が、高ナトリウム血症、高カルシウム血症にて、手足のつりや脱力が、低ナトリウム血症、高カリウム血症、低カリウム血症、低カルシウム血症、低マグネシウム血症にて、食思不振、悪心、嘔吐が、高カルシウム血症、低マグネシウム血症にて、血圧低下が、高カリウム血症、高マグネシウム血症にて、等々、血液の電解質のバランスが崩れると多彩な症状が見られます。

病気のはなし

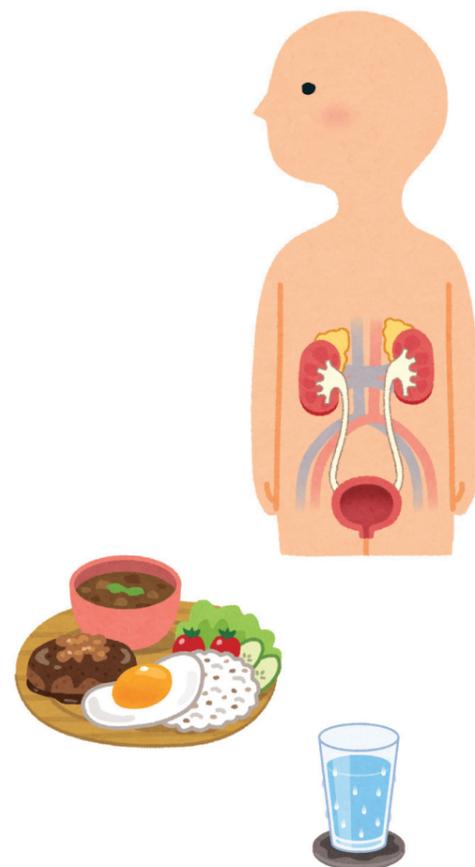


4.治療

水・電解質の代謝異常を来たしている原因の除去や、原因となっている疾患を治療することがその治療となります。

腎臓の働きが正常で、かつ、腎臓にて水・電解質の代謝を調整するホルモンの量や作用が正常な場合では、腎臓で調整可能な範囲を逸脱した飲水量や食事量の過不足が考えられます。口から飲んだり食べたりが十分でないときは、点滴や、内服などによる補給が必要となります。

それに対し、腎臓の尿の生成機能が悪い状態(急性腎不全や慢性腎不全、尿細管の疾患など)や尿の量や成分を調整するホルモンの過不足や作用の異常による場合は、原因となっている疾患に対する治療を行います。飲水量や食事内容の指導、内服薬などを治療に併用したりします。



○ 早期発見のポイント

水・電解質代謝異常は多彩な症状を引き起こします。下痢時の脱水の時のように、経過をお聞きしたり外観や血圧といった診察を行うだけでも、状態を把握でき、点滴治療を行い症状改善する場合がありますが、診察に血液検査や尿検査といった検査を追加し、診断し治療する場合があります。本稿の「症状」に挙げているのは代表的な症状のみですが、参考にされ、このような症状があり、かかりつけの病院などにご相談される場合は、他の気にな

る症状も医師に告げられてみてください。小さな症状が病気の発見の糸口になることもあります。

逆に、症状の自覚がなくても、水・電解質の異常が健診などでわかり、それをきっかけに腎臓の異常や、腎臓と関係するホルモンの異常がわかり、病気の早期の診断や治療に繋がることもあります。



○ 予防の基礎知識

腎臓の機能が悪い方(慢性腎臓病の方など)は、水・電解質異常が、腎機能が正常な方に比べ起こりやすいといえます。かかりつけの医師の指導の下、食事・飲水で水分や塩分制限、カリウム制限などあれば、それを守るようにされてください。内服も忘れずに服薬されるようにしてください。

腎機能が正常な方でも、運動中や高温の中での作業や発熱時に、大量に汗をかくときには、こまめに水分を補給すると同時に、少量の塩分も併せて取るようにされ、脱水にならないように注意してください。





行事食を紹介します！ (※昨年提供したものです)

7月

「七夕ディナー」

7月7日に、少しでも七夕気分を味わっていただけるように行事食を実施しました。

星型にくり抜いた人参を飾った白・赤・黄色の3色の素麺は、可愛い夏メニューとなりました。



「土用丑の日」

土用丑の日にうなぎを食べるのは、「う」の付く食べ物を食べると、夏バテしない(暑い夏を乗り切る事ができる)との言い伝えからだそうです。

小鉢は、夏野菜の「茄子」にさっぱりとした冷製あんをかけました。



8月

「お盆の行事食」

「炊き合わせ」には、夏が旬の食材「冬瓜」「かぼちゃ」「茄子」を使用しています。

小鉢のサラダには、ねぎとショウガ、トマトを使用した中華風のソースを盛りつけました。

みょうがを盛り付けた「茶そば」は、とても好評だったようです。



「リクエストメニュー」

嗜好調査で、献立に取り入れて欲しいメニューとして希望の声が多かった「カレーライス」を実施しました。「茄子」「かぼちゃ」「トマト」「オクラ」の夏野菜をふんだんに使用した夏野菜カレーです。

入院中、なかなか食べる機会のないカレーライスは、患者さん方に大変喜んでいただけたようです。



9月

「秋の行事食」

十五夜には、さつま芋を使ったお団子を、敬老の日にはお祝いの食事を提供しました。

赤飯やようかんなど、患者さんに人気のメニューで敬老の日をお祝いし、「見た目も美しく大変美味しかったです」といった声をいただきました。



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

病院総合医に認定されました

医療の専門化が進んでいる反面、患者さんの高齢化に伴い病態は複雑化しています。そのため、総合的に患者さんの病態に対応できる医師の育成を目的とした病院総合医育成事業が2018年4月に始まりました。当院では一般社団法人日本病院会の育成プログラムの認定を受け、4名の専修医が2年間の研修を経て2020年5月に無事認定を受けることができました。

今回の認定を受け、さらなる地域貢献ができるよう一同邁進してまいります。

企画総務室



▲認定を受けた医師(田辺大朗診療部長、庄野弘幸院長、町田健治医師、甲斐幹男医師)

個人防護具(PPE)着脱訓練を行いました

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染疑い患者受け入れの際に適切な個人防護具(以下、PPE)着脱ができることで自己への感染と他者への感染拡大を防止することを目的として、関係部署でのPPE着脱訓練を実施しました。

感染管理認定看護師が事前に動画作成などの準備を行い、各部署をまわって着脱方法と手指消毒が必要なタイミングと根拠について実技を交えながらレクチャーしました。

長期戦になる可能性が高いため、繰り返し訓練を行っていかねばと考えております。

企画総務室



▲病棟でのレクチャー

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、 2020年度の健康フェスタの開催を中止することにいたしました。

楽しみにして下さっていた皆様には申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

部署紹介★

みすみ病院の職員さんが、 少しでも元気で気持ちよく働けるよう

スリーエスは、契約先の施設で防犯防災等を担う警備会社です。平日の一般外来終了後の夜間と土日祝日の時間帯に、電話の対応、救急患者さんの受付、来院者の対応、防犯や防災・設備異常時の対応等で、これらを3人の少数精鋭(?)でがんばっています。

みすみ病院の職員さんが、少しでも元気で気持ちよく働けるよう、自分たちも元気で緑の下の力持ちとなって応援して行きたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

スリーエス(警備会社)

